

鹿児島バス 2025年4月報

■駅前広場に乗り入れる路線バス

鉄道とバス、あるいはバス同士、徒歩や自転車など交通の結節点でもある駅前広場には、路線バスを集約してターミナルを整備するのが全国的な傾向だが、鹿児島では従来、各社局がそれぞれバス停を設け、バス路線が集まっているから、かろうじて乗換にも使えるという状況が長く続いた。

駅前広場の管理は複雑で、所有者や管理者が誰なのか、整備主体がどこなのか、様々な研究資料を見ても、その複雑さから、特定の駅や地域について調査したものはあっても、やはり全国的に整理した資料は見つからない。

ここでは、これまで見聞した情報から、駅前広場に乗り入れる路線バスの状況をまとめ、記録にとどめることにしたい。

駅前広場は、かつてすべてが鉄道側で整備されていたようだが、駅前広場が都市計画法に基づき、都市計画決定され、公費で整備されるようになってきた。

駅前広場の登場は鉄道の開業と時を同じくして始まり、駅と駅前広場は密接に関連しつつ変化してきた。

当時の鉄道は長距離旅客が中心で、旅行客は駅に着くと手荷物をあずけ、待合室で汽車が来るまで待ち、また、終着駅においては手荷物を受け取るという旅行が一般的であり、駅の機能も溜まりの空間としての機能が主体であった。

駅前広場についても、このような長距離旅客の旅の起終点、いわば、都市の玄関として



の機能が求められ、駅の前庭的位置づけで整備されていたようである。

当時の駅前広場は、鉄道省の単独事業として整備されており、都市計画として駅前広場を決定する場合でも、鉄道省所管用地は都市計画事業より除外して、鉄道省側で計画に合致させて、独自に施行することとなっていた。

現在、JRの駅前広場整備については協定により都市側及び鉄道側の両者により造成、維持管理されることとなっている。これは、戦災復興事業の促進を目的として関係各省申合事項により、駅前広場の都市計画決定、費用の分担が定められたことが始まりであり、その後2回の変更を経て現在に至っている。

昭和61年10月より、国鉄の分割民営化以降の取扱いについて建設省、運輸省で検討を始め、昭和62年4月1日「都市計画による駅前広場の造成に関する協定」（建設省、運輸省）を定めた。この協定においては、都市計画決定の区域と鉄道側費用負担対象区域とを分離したほか、費用負担の割合が変更され、鉄道側負担については駅舎側6分の1となった。

こうした経緯から、国鉄時代からのもの、JRになってから整備されたもの、さらに、第三セクター化や自治体への広場を含めた駅施設の移譲などで駅前広場の管理形態は様々で、いわゆる「乗入料」の取り扱いも駅ごとに異なっている。「乗入料」は、新幹線が発着する大規模な駅と、それ以外の駅とでは区別されており、定期的に乗り入れるバスやタクシーについて、発着料、待機料をバスの台数によってJRが徴収している。

なお、戦災復興事業で整備された駅前広場が鹿児島、西鹿児島、串木野で、JRになってから整備（再整備を含め）された駅前広場が、鹿児島、鹿児島中央、伊集院、串木野、川内、出水、新水俣、志布志と思われる。こ

れらの駅前広場には、いずれも路線バスの乗り入れが行われていて、有効に活用されている。

各駅ごとの現状については、以下の通り。

鹿児島本線

鹿児島



鹿児島駅周辺の連続立体交差化の計画があったことから、整備に時間がかかり、鹿児島市内では最後の広場整備となった。かんまちあ側と磯街道側に2つの広場があり、磯街道側は道路拡幅により整備された「交通広場」であり、市の管理とされていることから、駅前広場としての乗入料の徴収は行われていない。また、既存のバス停があったことから、「栄町」バス停の名称は変更されていない。

整備前の駅前広場には、JR九州バス北薩線のみが乗り入れていたが、現在は、市営バス、南国交通も乗り入れがある。鹿児島交通は、かんまちあ側の広場に乗り入れていないが、鉄道からの乗り換え需要が限定的で、乗入料の負担もあることを理由としている。



鹿児島中央

九州新幹線の開通に合わせて駅前広場と地下通路の整備が同時に行われた。駅前広場のバスターミナル供用に合わせ、駅周辺にあった市営バスの高見橋、黄金通の各バス停は廃止された。

桜島側の東口と、線路は挟んで反対側にあたる西口の2か所に広場があり、いずれも駅前広場となっている。西口には、貸切バス用の駐車場も設けられているが、管理は県バス協会が行っている。駅前広場の整備にあたっては、当初、駅周辺に点在していたバス停留所のすべてについて、広場内への集約を計画したが、ナポリ通りの

中心軸上に整備済みの「若き薩摩の群像」の存在や、人が溜まる場所の確保の観点から、バスプールに使用できる面積が限定されたこと、民間事業者が整備した高速バスターミナルの活用や、田上方面へ向かう路線バスの迂回に要する時間の短縮などを理由に、一部が駅前広場外に残される形となっている。



広木



広木駅の新規開業に合わせて、鹿児島市が駅前広場を整備したことから、乗入料の徴収はない。駅前広場は市の管理となっている。

伊集院



駅舎の建替えに合わせ、駅前広場も整備された。橋上駅舎化されたことで、従来の広場と反対の東側にも駅出入口が設けられたが、路線バスの発着は従来の西側のみである。乗入料の徴収が行われているものと思われる。

市来

いちき串木野市が広場を整備し、コミュニティバスが発着している。国鉄時代にはバスの乗り入れはなかったものと思われる。

串木野

駅舎の建替えに合わせて、いちき串木野市が広場を整備し、路線バスが発着する。

国鉄時代は、駅前の国道沿いに林田バスの

営業所兼ターミナルが存在しており、駅前広場への乗り入れはなかった。現在は乗入料の徴収が行われているものと思われる。



川内



新幹線開通に合わせて駅の建て替えが行われ、駅前広場も線路を挟んで両側に整備された。路線バスの発着は、従来通り西側のみである。

国鉄時代は、駅前広場へのバスの乗り入れはなく、駅前のロータリーに面して林田バスと南国交通がそれぞれ向かい合う形でバス停を設置していた。

宮之城線の廃止代替で初めて駅前広場へのバスの乗り入れが始まった。乗入料の徴収が行われているものと思われる。

西方

バス停は駅前の国道上にあり、川内高城温泉を結ぶ折り返し系統のみが駅前広場に乗り入れていた。現在は、コミュニティバスが発着する。

鉄道が、肥薩おれんじ鉄道に移管された後、駅前広場については薩摩川内市の管理になっているものと思われる。



阿久根



駅舎のリニューアルに合わせ、駅前広場内への路線バスの集約が行われ、すべての路線バスが発着する。国鉄時代は国道上にバス停があり、広場への乗り入れはなかった。ただし、JR時代に、鶴翔高校への路線バスの乗り入れが開始された際、スクールバス用の停留所が広場内に設けられ、鶴翔高校を經由、あるいは行先とするバスは、広場内を經由していた。鉄道が、肥薩おれんじ鉄道に移管された後、駅前広場については、阿久根市の管理になっているものと思われる。

出水

新幹線開通に合わせて駅の建て替えが行われ、駅前広場も線路を挟んで両側に整備された。路線バスの発着は、従来通り西側のみで

ある。

駅前広場の整備に合わせ、隣接地に南国交通の出水バスセンターが移転し、バスの発着は、バスセンター、駅前広場の両方で行われている。

従来、南国交通は駅から離れた出水本町に独自のバスセンターがあり、駅前広場に乗り入れるのは、北薩線のJRバスのみだった。

路線バスが発着する駅前広場は、肥薩おれんじ鉄道側であり、出水市の管理になっているものと思われる。



新水俣



新幹線開通に合わせて初野信号所を駅に昇格させ、駅前広場も新設された。駅前広場には九州産交バスのほか、南国交通も路線を延長して乗入れている。JR管理の新幹線停車駅であり、乗入料の徴収が行われているものと思われる。

日豊本線

帖佐



国道10号を走る鹿児島交通は駅に立ち寄らず、国道上の帖佐バス停に発着する。南国交通と、あいら交通運行のコミュニティバスはすべての便が駅正面のバス停に発着する。かつては、JRバス加治木線も発着していた。

始良市によって、駅前広場の拡張整備が計画されており、バス停位置にも変化があるものと思われる。乗入料の徴収が行われているものと思われる。

錦江



国鉄末期に新設された駅で、駅前広場も大きくはない。住宅地の中にあり、路線バスの乗り入れはなかったが、始良市コミュニティバスが乗り入れている。

加治木

南国交通と、鹿児島交通運行のコミュニティバスが発着する。駅前広場は国鉄時代から

大きく変わっておらず。乗入料の徴収も従来通り行われているものと思われる。駅前広場への乗り入れは、かつて、鹿児島空港系統の一部に限定されていたが、現在は全便の乗り入れとなっている。JRバス加治木線も発着していた。



隼人



鹿児島交通は、林田バスの頃から、駅前広場内へのバスの乗り入れはなく、広場内のバス停はJRバス国分線と南国交通のみだった。JRバス廃止後、林田バスが引き継いだ。駅前の道路上のバス停に集約し、現在も広場内に乗り入れるのは南国交通のみである。乗入料の徴収が行われているものと思われる。

国分

鹿児島交通は、林田バスの頃から、駅前広場内へのバスの乗り入れはなく、広場内のバス停はJRバス国分線のみだった。JRバスを鹿児島交通が引き継いだ際に、バス停も引き継

がれ、引き継いだ路線に限って駅前広場に発着している。また、コミュニティバスである、妙見温泉バスについても発着する。乗入料の徴収が行われているものと思われる。



霧島神宮



林田産業交通の時代は、駅前広場へ乗り入れるバスは限定されていたが、現在はすべての路線バスとコミュニティバスが発着する。駅舎の管理が霧島市となっており、駅前広場も同様と思われる。

財部



もともと駅前広場へのバスの乗り入れはなかったが、曾於市がコミュニティバスを乗り入れている。駅舎の管理が曾於市となっており、駅前広場も同様と思われる。

西都城



駅隣接地に宮崎交通のバスセンターがあり、市外への発着はバスセンターが使用される。現在、宮崎交通の市内線のバスは、駅前の旧JR都城線のバス停だった場所に発着しており、鹿児島交通は志布志線代替系統のみが発着する。乗入料の徴収が行われているものと思われる。

都城



かつては駅前広場外に各社のターミナルがあったことから、広場内の発着はJRバス都城線のみだったが、現在は、宮崎交通が駅に向かって左側、鹿児島交通と廃止代替の高崎観光バスが右側にそれぞれ発着している。なお、鹿児島交通の乗り入れは、志布志線廃止代替と、高専前の2系統のみである。乗入料

の徴収が行われているものと思われる。

肥薩線

嘉例川



霧島市コミュニティバスの、妙見温泉バスが駅舎正面に乗り入れている。駅舎の管理が霧島市となっており、駅前広場も同様と思われる。

霧島温泉



林田バスから引き継いだ鹿児島交通の路線バスと、南国交通運行のコミュニティバスが駅前広場に発着する。かつて運行されていた霧島～空港間を結ぶ特急バスや南国交通は、駅前の道路上にバス停があり、乗り入れはなかった。駅舎の管理が霧島市となっており、駅前広場も同様と思われる。

大隅横川

駅前の道路上に南国交通のバス停があるが、駅前広場内のに発着していた駅を起終点

とする路線がすべて廃止されたため、現状は霧島市のコミュニティバスのみが発着となっている。駅舎の管理が霧島市となっており、駅前広場も同様と思われる。



栗野



山野線の廃止代替バスの運行を機に、南国交通が駅前広場内に乗り入れを開始した。駅舎の管理が湧水町となっており、駅前広場も同様と思われる。

吉松



かつては南国交通のほか、国鉄バス、宮崎交通、九州産業交通バスが乗り入れていたが、路線の廃止が相次ぎ、現在は、南国交通と、湧水町のコミュニティバスが残るのみとなっている。駅はJRが管理しているようだが、駅前広場もそうなのか、判断が難しい。

日南線

志布志



志布志線、大隅線が廃止されるまでの駅前には、広場に隣接する形で鹿児島交通の発着所があり、広場内でのバスの発着はなかった。また、離れた場所に志布志営業所とバスセンターがあったことから、駅前に立ち寄らないバスもあった。

廃止後、駅舎の位置が変わり、駅前広場が再整備された後、すべての路線バス乗り入れるようになった。駅舎の管理が志布志市となっており、駅前広場も同様と思われる。

指宿枕崎線

谷山



連続立体交差事業に合わせ、駅前広場が整備され、バスターミナルも設置されたが、鹿児島交通の一般路線は従来の国道上のバス停を引き続き使用しており、乗り入れはない。市営バスとコミュニティバスのみの乗り入れとなっていたが、4月からコミュニティバスは全便乗合タクシー化が予定されている。

JR管理の駅であり、乗入料の徴収がある。

山川



駅前広場内に発着していたのはJRバス山川線のみであり、廃止後引き継いだ鹿児島交通が、代替系統のみ現在も乗り入れている。ほかの系統は、駅前の道路上のバス停を使用している。駅舎の管理が指宿市となっており、駅前広場も同様と思われる。

宮之城線

宮之城



鉄道廃止前は、駅前に発着するバスは国鉄

バス北薩線のみで、林田バス、南国交通ともに駅前広場への乗り入れはなかった。

廃止後、鉄道記念館が整備された際、交通広場が設けられ、各社の路線が発着するようになった。

薩摩永野



鉄道廃止前は、駅前に発着するバスはなく、廃止後、鉄道記念館が整備された際、交通広場が設けられ、廃止代替バスが発着するようになった。

鹿児島交通

伊作



鹿児島交通の旧伊作駅前に同社のバスが発着していたもので、営業所廃止後の現在、広場は日置市の管理となっている。路線バスの発着は現在も継続している。

加世田

鹿児島交通のターミナル駅だった旧加世田駅前に同社のバスが発着していたもので、現



在は、旧駅の敷地内が路線バスの発着所として使用されている。現在も、同社が管理所有している。

枕崎



鹿児島交通が開設した駅に、国鉄が乗入っていた経緯から、駅前広場も鹿児島交通の所有であり、同社のバスのみが乗入っていた。かつて走っていたJRバス山川線は、駅向かい側に独自の発着所を設けていた。

旧駅の敷地はスーパーに貸し出されたが、駅前広場はそのままバスの発着所として使用が継続している。

知覧

鹿児島交通の旧知覧駅前に同社のバスが発着していたもので、営業所廃止後の現在も同社の管理となっている。路線バスの発着は現在も継続している。





■最近のバス関連の話題から 鹿児島市交通局貸切バス事業の運営 について

貸切バスについては、バス運転士不足に伴い、安全運行の観点から、令和7年2月から6月までの間は、市民や旅行代理店等からの直接申込のみを受付けることといたします。

なお、申込日等が重複する場合には、先着順で受付を締め切らせていただくこともありますのでご了承ください。

また、路線バスの路線・ダイヤ改正を予定しております7月以降は通常運行いたします。

4月1日鹿児島市のコミュニティバス「あいばす」一部の運行地域で車両変更

鹿児島市が運行するコミュニティバス「あいばす」について、鹿児島交通の撤退に伴い、谷山や喜入など6つの地域を走る車両が令和7年4月から変更されることになりました。

1月までに谷山や喜入、郡山など6つの地域で運行を委託されている鹿児島交通から運転手不足などを理由に、令和7年度の継続が困難として、契約を更新しない申し出があったということです。

そこで鹿児島市では路線を維持するため、事業者を変更する事業計画を提案し、了承されました。

新たな事業者は鹿児島市タクシー協会で、運行ルートやダイヤ、運賃に変更はありませんが、車両は現在の小型マイクロバスから、定員9人の特定大型車に変更されます。

鹿児島市では現在、あいばすの運行形態などについて抜本的な見直しを進めていて、令和7年12月ごろまでに、令和8年度以降の事業計画を定めたいとしています。

12月1日から鹿屋くるりんバス運行を見直し

●主な変更点

・市街地循環ルート

路線バス大須線の廃止に伴い、郷之原・大浦地区をカバー

市立図書館前を毎日運行、バスが走っていない上新川・寿7丁目南部地区をカバー
・北ルート

イオンかのやショッピングセンターバス停を新設、路線バス減便対応として池田病院前まで乗り入れ

・大始良ルート

路線バス星塚線、芝山線の廃止に伴い敬愛園入口、名貫バス停を新設、イオンかのやショッピングセンターバス停を新設

輝北・串良地区くるりんバス運行終了

輝北地区：令和6年3月29日をもって運行を終了いたしました。

串良地区：令和7年3月28日をもって運行を終了いたします。

今までご利用いただきまして、ありがとうございました。



1月1日鹿児島交通ダイヤ改正

経路変更

6番線：慈眼寺団地→慈眼寺公園→谷山→金生町 9:20発の生協病院経由便から生協病院通過便に変更いたします。

※生協病院前・南麓・慈眼寺郵便局前は廃止となります。

時刻改正

鹿児島空港→枕崎

鹿児島空港12:00発を12:15発に変更いたします。

廃止

霧島市コミュニティバス『牧園ふれあいバス 中津川線・三体線・丸尾線』

日置市コミュニティバス『ゆすいん号』



（日置市「東市来地域」「吹上地域」のコミュニティバスは、令和5年3月31日（金曜日）をもって廃止されており、これで日置市コミュニティバスは全廃）

4月1日鹿児島市内～鹿児島空港線・鹿屋直行バス運賃改定、鹿児島空港国際線前停車を廃止

鹿児島市内～鹿児島空港について

	3/31まで	4/1より
大人	1,400円	1,500円
小人	700円	750円

※いわさきICカードおよびラピカにて実施しております100円割引は廃止いたします。

※4/1より国際線の停車を廃止いたします。4/1以降は第1降車場をご利用ください。

鹿屋直行バスについて

	3/31まで	4/1より
東笠之原 東団地前 寿中央	1,500円	1,700円
鹿屋 航空隊前	1,400円	1,600円
鹿屋体育大前・ 白水 古江	1,300円	1,400円
垂水港	700円	800円



鹿児島交通、2月から鹿児島市金生町一南さつま市加世田の2系統廃止

鹿児島交通は2月1日から、南薩地域の路線バスのダイヤを改正した。金生町（鹿児島市）ー加世田（南さつま市）の2系統を廃止し、他路線も減便などを進めるほか、南九州市と指宿市から委託を受けるコミュニティーバスも便数や運行日数を減らす。同社は「運転手不足に対応するため」と説明。

金生町ー加世田のうち、「スーパー特急」と金生町ー伊作（日置市）の2系統は廃止。他系統の運行時間などを調整してカバーしている。

鹿児島交通、4月1日枕崎～加世田～鹿児島空港線廃止

この度、利用客減少に加えて深刻な運転手不足等により枕崎～加世田～伊作～鹿児島空港線の運行を終了いたします。

なお、4月1日より鹿児島～加世田・枕崎直行バスの増便を予定しております。鹿児島空港～鹿児島市内線をご利用いただき、鹿児島

市内～加世田・枕崎の路線バスをぜひご利用ください。

該当路線

枕崎～加世田～伊作～鹿児島空港

回数券

4月1日以降、発売額÷10×残枚数を無手数料にて払い戻しいたします。

お近くの窓口にお申し付け下さい。

※3月31日までは通常の払い戻しとなります。

南国交通、2月3日鹿児島市内路線バスタッチ決済導入

鹿児島市内を運行する路線バスにおいて、三井住友カードが提供する公共交通向けソリューション「stera transit」を導入し、タッチ決済で乗車がより便利に簡単にご利用頂けるようになります。

<実施概要>

1. 対象路線

鹿児島市内路線バス（※一部、対応していない車両がございます。予めご了承ください）

い。)

2. サービス開始日

令和7年2月3日

3. 取り扱いカードブランド

Visa/JCB/American Express/Diners
Club/Discover/銀聯

※Mastercard®については、順次追加予定
なお、タッチ決済車両には上記カードブ
ランドのステッカーが貼付されております。

4. ご利用方法

乗車時と降車時の2回、専用機器にカード
をタッチして下さい。

降車時に運賃の精算を行います。

乗車時

・乗口付近に設置している専用機器にタッ
チ決済に対応したカードやスマートフォン等
をタッチする

降車時

・料金箱付近に
設置している専用
機器にタッチ決済
に対応したカード
やスマートフォン
等をタッチして決
済完了

5. タッチ決済乗降 履歴確認方法

交通事業者向け
決済及び認証のプ
ラットフォームを
提供する QUADRAC
の Q-move サイト
に([https://q-
move.info/](https://q-move.info/))アク
セス頂き、「マイ
ページ」の会員登録
手続き完了後、
ご確認頂けます。

6. 鹿児島市内路 線バス導入率 約70%

南国交通、1月31日企画乗車券の新 商品発売

この度、弊社では「(1日券) NORTH
SATSUMA GREAT PASS」をスマートフォンアプ
リ(my route)限定で発売いたします。

「NORTH SATUMA GREAT PASS」は肥薩おれん
じ鉄道株式会社ならびに出水駅蔵之元港間シ
ャトルバス利用促進協議会との共同企画にな
ります。肥薩おれんじ鉄道線沿線から見える
九州西海岸

の雄大な景色を味わったり、出水・天草ロ
マンシャトルバスで天草市に接続する蔵之元
港までの車窓を眺めたり北薩地域の魅力をぜ
ひお楽しみください。

■ 商品紹介 ■

<発売日>令和7年1月31日(金)

<発売場所>スマートフォンアプリ「my

News Release

南国交通株式会社

<https://nangoku-kotsu.com>

< 令和7年1月23日(木) >

企画乗車券の新商品について

平素より南国交通のバスをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
この度、弊社では「(1日券) NORTH SATSUMA GREAT PASS」をスマートフォンアプリ(my route)限定で
発売いたします。「NORTH SATSUMA GREAT PASS」は肥薩おれんじ鉄道株式会社ならびに出水駅蔵之元港間
シャトルバス利用促進協議会との共同企画になります。肥薩おれんじ鉄道線沿線から見える九州西海岸
の雄大な景色を味わったり、出水・天草ロマンシャトルバスで天草市に接続する蔵之元港までの車窓を
眺めたり北薩地域の魅力をぜひお楽しみください。

■ 商品紹介 ■

<発売日>2025年1月31日(金)

<発売場所>スマートフォンアプリ「my route」

<運用方法>スマートフォンに表示されるデジタル乗車券を降車時に運転手へ提示

デザイン	商品名/概要	発売価格
	商品名:【1日券】NORTH SATSUMA GREAT PASS <概要> 対象の路線で1日間乗り放題となる 企画券。一般路線バス(出水市、薩 摩川内市、阿久根市、さつま町、伊 佐市、湧水町)、空港シャトルバス (出水線、川内線、大ロ・水俣線)、 出水・天草ロマンシャトルバス(出 水駅⇄蔵之元港間)、肥薩おれんじ鉄 道(川内駅⇄新水俣駅) ※但し、都市間高速バス、自治体が 委託するコミュニティバスは除く。	大人3,000円 小人設定なし 払戻手数料は1枚につき 660円になります。 ※購入後「利用開始」を 押さない場合、60日間 購入状態が保持されま す。

<お問い合わせ先> 南国交通株式会社 099-255-2141

route]

＜運用方法＞スマートフォンに表示されるデジタル乗車券を降車時に運転手へ提示

商品名：【1日券】NORTH SATSUMA GREAT PASS

＜概要＞ 対象の路線で1日間乗り放題となる企画券。一般路線バス（出水市、薩摩川内市、阿久根市、さつま町、伊佐市、湧水町）、空港シャトルバス（出水線、川内線、大口・水俣線）、出水・天草ロマンシャトルバス（出水駅⇄蔵之元港間）、肥薩おれんじ鉄道（川内駅⇄新水俣駅）

※但し、都市間高速バス、自治体が委託するコミュニティバスは除く。

大人3,000円小人設定なし

払戻手数料は1枚につき660円になります。

※購入後「利用開始」を押さない場合、60日間購入状態が保持されます。

南国交通3月31日限りで黒木三文字など廃止

このたび弊社にて運行しております以下の路線につきましては、諸般の事情によりまして、来る令和7年3月31日をもちまして廃止及び停留所廃止を行うことになりました。

記

【廃止を行う路線】「藺牟田～広橋」「広橋～楠田」「祁答院中～藺牟田」

【一部廃止を行う路線】「鹿児島中央駅～黒木三文字（廃止区間：北中～黒木三文字）」

※「黒木三文字・会田・木原・研修センター前・上手・楠原・祁答院中前・祁答院支所前」は、片側のみ引き続き「大村循環（平日）」にて運用いたします。

南国交通4月1日一般路線バスの運賃改定及び金額式定期券の販売について

南国交通は令和6年11月28日に一般路線バス運賃の上限運賃変更認可申請並びに運賃設定を行いました。

改定実施日は令和7年4月1日を予定しております。

ご利用のお客様には、ご負担をお掛け致しますが何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、利便性の向上を目的とした金額式定期券の販売を開始致します。



1. 運賃改定概要

- ① 運賃改定実施日 令和7年4月1日（火）
- ② 運賃改定対象路線 弊社の運行する一般路線バス
- ③ 実施運賃平均改定率 6.7%程度
定期券についての割引率の変動はございません。
- ・ 運賃改定前（3月31日まで）にご購入の通勤・通学定期券は、運賃改定以降（4月1日以降）も有効期限内はそのままご利用を頂けます。
- ・ 4月1日以降にご購入の定期券は、新しい定期券料金が適用されます。

2. 金額式定期券の販売開始について

- ① 販売開始日
令和7年3月中旬以降（システム改修により販売開始日が前後致します）
- ② 利用開始日
令和7年4月1日（火）以降
金額式定期券は、購入時の設定運賃区間内であれば、区間にかかわらずご利用頂けます。（通学定期券は自宅最寄りバス停から通学で使用するバス停の金額購入となります）
乗り越し時の精算は購入金額との差額を徴収で利用可能です。
※空港連絡バス・コミュニティバス等の一部路線は対象外

金額式定期券の片道定期券等はありません。

現在販売している区間定期券は今後も購入可能です。

（注）4月以降の区間定期券をご利用しているお客様が、金額式定期券への切り替えを希望される場合は、切替がシステム上できませんので、区間式定期券の期日満了日以降の購入をお願いします。

10月から共通ICカード乗車券 1割加算を廃止へ

鹿児島市交通局は、県内の路線バスなどで使える共通ICカード乗車券の「ラピカ」と「いわさきICカード」について、積み増しした際に1割加算す



令和7年2月17日
南国交通株式会社

一般路線バスの運賃改定及び金額式定期券の販売について

令和6年11月28日に一般路線バス運賃の上限運賃変更認可申請並びに運賃設定届を行いました。
改定実施日は令和7年4月1日を予定しております。
ご利用のお客様には、ご負担をお掛け致しますが何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
また、利便性の向上を目的とした金額式定期券の販売を開始致します。

1. 運賃改定概要

- ① 運賃改定実施日 令和7年4月1日（火）
- ② 運賃改定対象路線 弊社の運行する一般路線バス
- ③ 実施運賃平均改定率 6.7%程度
- ④ 運賃比較表
現行運賃 改定実施運賃 ※1
初乗り運賃（鹿児島市以外） 160円 → 200円
（鹿児島市街地） 200円 → 230円
上記区間以外 利用区間により値上幅が異なります。
- ※1 改定運賃は、令和7年4月1日以降お客様から実際に収受する運賃額です。
定期券についての割引率の変動はございません。
運賃改定前（3月31日まで）にご購入の通勤・通学定期券は、運賃改定以降（4月1日以降）も有効期限内はそのままご利用を頂けます。
・4月1日以降にご購入の定期券は、新しい定期券料金が適用されます。

2. 金額式定期券の販売開始について

- ① 販売開始日 令和7年3月中旬以降（システム改修により販売開始日が前後致します）
- ② 利用開始日 令和7年4月1日（火）以降
- ③ 概要
金額式定期券は、購入時の設定運賃区間内であれば、区間にかかわらずご利用頂けます。（通学定期券は自宅最寄りバス停から通学で使用するバス停の金額購入となります）
乗り越し時の精算は購入金額との差額を徴収で利用可能です。（詳細は別紙）
※空港連絡バス・コミュニティバス等の一部路線は対象外
金額式定期券の片道定期券等はありません。
現在販売している区間定期券は今後も購入可能です。
（注）4月以降の区間定期券をご利用しているお客様が、金額式定期券への切り替えを希望される場合は、切替がシステム上できませんので、区間式定期券の期日満了日以降の購入をお願い致します。

正式に認可されましたら改めてホームページ等でお知らせいたします。

るサービスを令和7年10月から廃止する方針を明らかにしました。

鹿児島市交通局によりますと、1割加算のサービス廃止は、令和6年6月に民間事業者から寄せられた「経営的に苦しい」という意見をもとに検討したということです。

この条例改正案が市議会で可決されれば、10月からの廃止を予定しています。

1割加算に伴う鹿児島市交通局の負担額は、年間約7千万円で、鹿児島市電と市バスの共通ICカード乗車券の利用者は全体の3割弱です。

民間バス事業者だけ1割加算を廃止してシステムが改修された場合、鹿児島市電と市バスと民間バスの間で相互利用が成り立たなくなり、利用者に不利益を与えると廃止を決めたとしています。

しまバス2月2日「JAL MaaS号」ラッピングバス運行開始

JALは、令和7年2月2日(日)より、株式会社しまバス(所在地：鹿児島県奄美市、社長：岩崎勇登)と協力し、ラッピングバス「JAL MaaS号」の運行を開始しました。この取り組みは、奄美大島の豊かな自然や文化を多くの方々に楽しんでいただくことを目的としており、観光を通じてバスの利用者数を増やすことで地域経済の活性化を図ることを目指しています。

JALはこれまで、地域が抱える交通課題の解決を目的に、JAL MaaS(※1)を通じて空港から目的地までの移動をシームレスにつなげるサービスを提供してきました。奄美大島においても、2023年3月より、しまバスとの路線バス乗り放題券、大和村との奄美市内をつなぐ片道乗車券との連携、また旅行スタイルに合わせて利用可能な「し〜まクーポン」の提供など、地域に寄り添った交通課題の解決や新たな人流創出に向けた施策に取り組んできました。ラッピングバス「JAL MaaS号」

の運行により、さらなる認知拡大を図り、観光を通じたバス利用者を増やすことを目指すとともに、「JAL MaaS号」ご利用の方へのマイルプレゼントキャンペーンや、路線バス乗り放題券ご利用の方への対象施設の割引なども実施します。

「JAL MaaS号」を通じて、より多くの方々に奄美大島を訪れていただき、その魅力を存分に楽しんでいただくきっかけを提供し、さらなる関係・つながりを創出していきます。※本企画は奄美群島誘客・周遊推進事業の助成金により実施しています

(※1) JAL MaaSとは、空港を中心としたその前後の移動の検索や、地上交通の予約・手配が可能となる他、経路検索結果に応じた空港情報のご案内に加え、現地で利用いただけるお得なクーポンを提供するなど、出発地から目的地までストレスフリーに移動できる経路検索サービスです。

【「JAL MaaS号」概要】

運行会社：株式会社しまバス

台数：1台

運行路線：奄美空港～奄美市内

運行期間：令和7年2月2日(日)～令和9年1月31日(日)

※予告なく運行を終了する場合がございます。

【マイルプレゼントキャンペーン】

「JAL MaaS号」にご乗車いただき、車内でアンケートにご回答いただいた方限定で、マイルをプレゼントするキャンペーンを実施します。※月々先着100名様限定となります。

■サービス内容詳細

ラッピングバスにご乗車いただき、車内の二次元バーコードをスキャンJMBお得意様番号とパスワードを入力し、アンケートに回



答、後日マイレージをプレゼント
※乗車中にご回答いただく必要がございます。

※一日一回答が上限となります。

※予告なくキャンペーンを終了する場合がございます。

【しまバス「路線バス乗り放題券」利用時の割引対象施設】

奄美パーク/大島紬村(龍郷町)/奄美海洋展示館(奄美市大浜海浜公園)/原ハブ屋(笠利町土浜)/ウエストコート奄美 WA・CAFÉ/マングローブパーク(住用町)/マングローブ茶屋(住用町)

■最近の新規登録・移籍車



鹿児島200あ・615/宮都観光バス



鹿児島200あ・625/新鹿児島観光バス



鹿児島200あ・630/南国交通観光



鹿児島230あ・326/鹿児島中央観光バス



鹿児島200か・2506/新鹿児島観光バス



鹿児島200か・2510/アーベル交通



鹿児島200か・2511/宮都観光バス



鹿児島200か2519/鹿児島市交通局



鹿児島200か2547/アーベル交通



鹿児島200か2520/高山観光バス



鹿児島200か2551/北薩観光



鹿児島200か2528/高山観光バス



鹿児島200か2553/南国交通観光



鹿児島200か2535/福留交通観光



鹿児島200か2555/さつま観光バス



鹿児島200か2546/南国交通観光



鹿児島200か2560/南国交通



鹿児島200か2561/南国交通



鹿児島200か2574/南国交通



鹿児島200か2565/福留交通観光

【参考文献等】

鹿児島市戦災復興誌

鹿児島都市圏バス路線再編調査報告書

(S59.8)

都市と交通No36 Nov. 1995

ホームページ 鹿児島市交通局・いわさき

コーポレーション・南国交

通・しまバス・KTS鹿児島テ

レビ・南日本新聞デジタル・

鹿屋市

編集・発行：バスフォーラ

ム鹿児島 執印友之

のったりおりたりマイプラン

指宿・知覧2日乗車券
通常2200円が**1100円**

霧島1日乗車券
通常1100円が**550円**

鹿児島交通乗り放題乗車券が
2025年
2月28日まで
期間限定

半額

指宿1日乗車券は
対象外です。

www.jr-odekake.net
JRおでかけネット

▶ 旅・キャンペーン

▶ 南九州DE超回復

▶ CONTENTS
おすすめの体験コンテンツ
のたりおりたりマイプラン指宿・知覧(2日乗車券)
のたりおりたりマイプラン霧島(1日乗車券)

▶ **tabiwa**で購入

【半額で購入するには】

- ・ **WESTER** 会員登録が必要
- ・ 乗車日当日まで購入可能
- ・ クレジットカードで支払
- ・ スマホで乗車券を提示します。

のたりおりたりマイプラン
乗車券の適用エリア・
路線図・時刻表はこちら

お問合せは 鹿児島交通 TEL 099-254-8970

いわさきコーポレーション



鹿児島交通